

◆事例報告◆

新病院への移転

沼田 裕子

I. はじめに

足利赤十字病院は栃木県南西部に位置し、2011年7月1日、旧病院から約2.2km離れた新病院へ全面移転いたしました。診療科24科、地上9階建、病床数555床で、人口80万人を対象とする両毛医療圏の中核病院として医療を提供しております。

新病院は分棟型による全室個室、免震構造による地震に強い建物になっており、太陽光・風力発電を実現し、全国初の省CO₂推進モデル病院に選ばれました。



図1 足利赤十字病院

II. 医学図書室の現況

面積：81.52m²

閲覧席：8席

NUMATA Yuko

足利赤十字病院 図書室

パソコン：2台

担当者：職員1名

単行書：和書 362冊

洋書 20冊

受入雑誌：和雑誌 126タイトル

洋雑誌 25タイトル

電子医学資料：医中誌 Web

メディカルオンライン

MEDLINE with Full Text

DynaMed

The Cochrane Library

シュプリンガー・リンク

ホスピタルエディション

病歴図書委員会の決議により古い単行書は廃棄が決定し、2000年以前で利用されていない本は選別作業後処分しました。洋雑誌については今年度よりシュプリンガー・リンクホスピタルエディションを導入したことにより、冊子体を検証しタイトル数を1/3にまで減らしました。和雑誌についてはタイトル数を変更せず従来通りの購入となりました。

III. 引越状況

棚数や移転後の配置図を考え、棚に通し番号を振って箱詰めをし、引越当日は約300箱を1日で収納しました。本の並び変え等修正はありますが、徐々に整理を行っている

ころです。

可動式ラックにしたことにより収納力も増え、閲覧スペースを2倍に増やすことができました。また病院の安全面での取り組みとして、セキュリティーカードを導入し入室管理を行っており、忙しい先生方にも夜間・休日・時間を問わず利用していただけるようになりました。



図2 書架・閲覧席

IV. おわりに

大プロジェクトである病院移転にその一員として参加でき、貴重な経験をすることができました。

図書室は3階にあり医局・看護部に隣接しているので、今まで以上に職員の皆様に利用していただけるような環境作りをしていきたいと思います。時代の変化に伴い様々なものが電子化されていて、戸惑いを感じながらも学んでいけたらと思います。

協議会の皆様、これからもどうぞ宜しくお願い致します。



図3 中庭・パソコン席